

『百人一首』 中村素堂先生の仮名散らし書きの魅力 (三)

今来むといひしばかりに長月ながつきの 有明の月を待ち出いでつるかな

素性法師そせいほうし

〈歌意〉

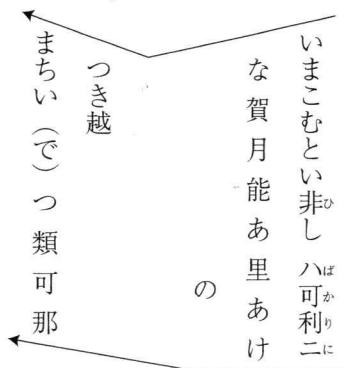
「すぐに行こう」とあなたが言ったばかりに、九月の秋の長い夜を、有明の月が出るまで待ってしまったことですよ。」

○この歌は『古今集』(恋二・六九一番)に出ています。  
○有明の月は、出の遅い明け方の月のこと。

(素性法師)

生没年不明。俗名は良岑玄利よしみねのはるとし。遍照の子。

〈字母〉



中央の集団と左の小集団が上の方で造形的につながって書かれています。(で)が欠字。

中村素堂先生の書

大島香菊様提供

(青藍)